

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年7月27日(2020.7.27)

【公開番号】特開2020-7333(P2020-7333A)

【公開日】令和2年1月16日(2020.1.16)

【年通号数】公開・登録公報2020-002

【出願番号】特願2019-153406(P2019-153406)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/07	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
A 6 1 B	5/055	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	25/18	(2006.01)
A 6 1 P	25/24	(2006.01)
A 6 1 P	25/08	(2006.01)
A 6 1 P	21/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/02	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	27/06	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/22	(2006.01)
A 6 1 P	25/36	(2006.01)
A 6 1 P	25/34	(2006.01)
A 6 1 P	25/32	(2006.01)
A 6 1 P	25/14	(2006.01)
C 0 7 K	5/103	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	38/07	
G 0 1 N	33/50	Z
A 6 1 B	5/055	3 8 2
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	25/18	
A 6 1 P	25/24	
A 6 1 P	25/08	
A 6 1 P	21/02	
A 6 1 P	25/02	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	27/06	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	25/22	
A 6 1 P	25/36	
A 6 1 P	25/34	
A 6 1 P	25/32	
A 6 1 P	25/14	
C 0 7 K	5/103	

【手続補正書】

【提出日】令和2年6月12日(2020.6.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

心的外傷後ストレス症候群、うつ病状態、大うつ病性障害、精神病性うつ病、産後抑うつからなる群より選択される障害を治療する為の、有効量の G L Y X - 1 3 を含む医薬組成物であって：

前記医薬組成物は患者における脳活性の測定により得られた M R I シグナルからのシグナルの同定に基づいて前記シグナルを患者の異常な脳状態として同定するに際し使用され、前記脳活性は神経活性化であり、前記神経活性化は脳の学習及び／または記憶関連領域における神経活性化である、前記医薬組成物。

【請求項2】

M R I シグナルを生成することは、機能的磁気共鳴画像法を使用することを含む、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

認知または精神障害に罹患する患者における、前記医薬組成物による治療の進行及び／または治療の終点が、下記：

患者における脳活性を測定したものである M R I シグナルを生成すること；

前記患者の正常または異常な脳状態として前記シグナルを同定すること；及び

前記シグナル同定に基づいて G L Y X - 1 3 の有効量を患者に投与するか否かを決定すること

を含む方法で追跡される、請求項1又は2に記載の医薬組成物。

【請求項4】

有効量の G L Y X - 1 3 を含む医薬組成物であって、認知または精神障害に罹患する患者における、前記医薬組成物による治療の進行及び／または治療の終点が、下記：

患者における脳活性を測定したものである M R I シグナルを生成すること；

前記患者の正常または異常な脳状態として前記シグナルを同定すること；及び

前記シグナル同定に基づいて G L Y X - 1 3 の有効量を患者に投与するか否かを決定すること

を含む方法で追跡される、前記医薬組成物。